

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月9日	記入者		連絡先	780-1404
平成18年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	柳川 宝
平成19年度部名	環境保全部	課名	津久井環境課	課長名	江成 博
事務事業名	合併処理浄化槽設置補助事業				
予算上の事務事業名	合併処理浄化槽設置補助事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32610		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				
施策名	第1施策 汚水対策の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	国・県・市合併処理浄化槽設置補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
生活排水によって生じる水質汚濁負荷を低減させ、良好な公共用水域環境を保持していくため、補助対象区域に合併処理浄化槽を設置する者に対して補助金を交付し、設置を促進していく。	補助金申請者				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	65基の合併処理浄化槽設置に対し補助金を支出した。				
人槽区分	補助額	交付基数			
5人槽	354千円(300)	41基(2)			
7人槽	411千円(400)	21基(3)			
10人槽	519千円	3基			
カック内は旧藤野町分					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費			26,502	82,552	0
一般財源			5,136	31,583	0
受益者負担金			0	0	0
その他の特定財源			21,366	50,969	0
人件費の合計			6,440	6,440	0
事業コスト合計			32,942	88,992	0
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	合併処理浄化槽設置補助事業			対象名称 と単位	地区内世帯数(世帯)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)			26,502	82,191	82,191
対象数			17,511	17,787	17,787
単位あたり経費(円)			1,513	4,621	4,621
前年度比				3.05	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	合併浄化槽補助率	指標式と指標の説明	合併処理浄化槽補助件数 / 全ての浄化槽基数 × 100		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績			61.9	0.0	0.0
目標			66.7	75.0	75.0
目標達成度 (%)			92.9	0.0	0.0
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	合併処理浄化槽普及率 (%)	指標式と指標の説明	合併処理浄化槽処理人口 / 区域内人口 × 100		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績			12.7	0.0	0.0
目標			12.8	13.2	13.2
目標達成度 (%)			99.5	0.0	0.0
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		生活排水処理施設（下水道）未整備地域において、今後も、短期間・低コストでの整備の推進及び良好な生活環境の保全対策を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
既設単独浄化槽や汲取り便所から、合併処理浄化槽への転換を進めるため、広報等による制度周知を積極的に行う。			平成 2 1 年度から予定されている県費補助対象除外方針の地域における、補助制度の継続。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		ダム湖の水質改善を進めるための施策として、関係部署と連携をとり合併処理浄化槽の設置や下水道整備等を行い生活排水処理の向上を図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			